

松戸東ロータリークラブ活動報告

障害者に対する理解と支援を

～千葉県立矢切特別支援学校に「出前教室」と「職場体験」を提供～

松戸東RCでは県立矢切特別支援学校への社会奉仕活動として2018年12月11日出前教室、2019年2月4日から8日まで障害者職場実習を行いました。

「出前教室」では、様々な仕事を紹介し、世の中にどのような仕事があるのかを学んでもらう為の授業を行いました。知的障害を持つ生徒さん達が、どんな職業にも就くことが出来る訳ではありませんが、学校も親御さんも、生徒さん達が社会に出て、独立した生活が出来ることを望んでいます。しかし生徒さん達に選択肢が少なすぎるのも現実です。「出前教室」を通じて、この生徒達に何かできることはないのかを考える機会になりました。

「職場実習は」、初めてのことで、大変に不安がありました。「職場実習」を行うことにより、学校（先生方）や親御さんが何よりも求めているのは、生徒達に職業を通じた社会経験をさせる事と、知的障害者への社会一般の理解を広める事だと理解出来ました。今回は会員の企業で、ラーメン店の掃除や洗い場、石材店での掃除やお花作り等の仕事でしたが、生徒達は考えていた以上に新たな経験ができたことに新鮮味を感じ、笑顔で生き活きと働いていました。何より親御さんが喜んでくださった事、学校の先生方が喜んで下さったことは、私達も嬉しい限りです。ロータリークラブの対外的奉仕活動がどうあるべきか、を改めて学びました。児童本人も周りで支える方々も大変な苦勞をしています。職場実習を受け入れる企業が増えるほど選択肢が増え、知的障害者教育の充実が図れます。今後、多くのロータリアン企業が受け入れを検討していただけるように、今回の活動を周知していきたいと考えさせられた活動でした。

2018年12月11日 出前教室



グループディスカッション



出前教室での講演



2019年2月4日～8日 職場実習

